

号外

日本と中国

Japan and China Friendship Newspaper

昭和42年2月6日第三種郵便物認可/発行/公益社団法人日本中国友好協会

飯田地域版/編集: 飯田日中友好協会/会長: 清水可晴

飯田日中のニュース 2020年11月号第327号

今月11月の活動予定

今月の予定

- 8日(日) 2・3世向日本語教室/阿智
- 19日(木) 高齢者向け日本語教室/豊丘はつらつ
- 22日(日) 2・3世向日本語教室/阿智
- * 12月1日(火) 長野県日中理事会/長野市
- 12月4日(金) 飯田日中理事会喬木村福祉セ

初めての「オンライン演劇公演鑑賞会」を実施!

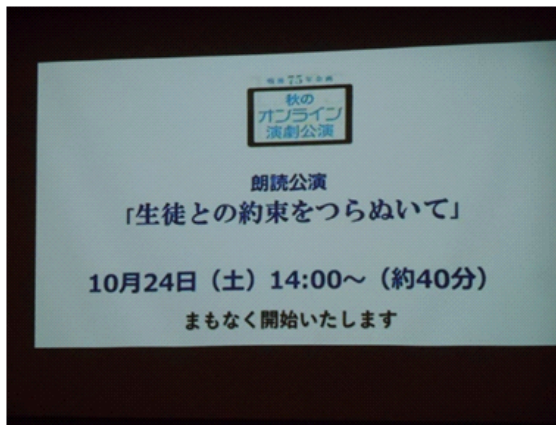
平和祈念展示史料館の「戦後75年企画～秋のオンライン演劇公演」 〈生徒との約束をつらぬいて〉を鑑賞



先月10月号で、お知らせいたしました表記のオンライン演劇公演は、24日午後満蒙記念館の「セミナー棟」ならびに、自宅などのパソコン環境のある場所などで、大勢の皆さんに鑑賞していただきました。

特に、10月24日(土)は、地元の下伊那郡西部5ヵ村(旧清内路村、智里村、浪合村、現平谷村、根羽村)から、現黒竜江

省宝清県に昭和18年3月入植した。「東横林南信濃郷開拓団」(阿智郷開拓団の隣に入植)の若い新任の教師、「稲垣(旧姓山口)秀子」さんの現地の生活と敗戦時の悲惨な引揚体験「生徒との約束をつらぬいて」を、劇団俳優座による朗読劇をスクリーンに大写して鑑賞しました。



コロナ禍のなか、集会やイベントが自粛されている中で様々な行事となり、会員はじめ地域の人たちとの有意義なひとときとなりました。(写真参)



(参考資料) 南信濃郷開拓団」の送出数と犠牲者数の概要 (勤労奉仕隊員 23 名を含む) (第 1 表)

開拓団 戸数	在籍 人員	出征者 36 人の生死				在団者 465 人の生死			
		復員	死亡	未帰還	死亡率	引揚	死亡	未帰還	死亡率
113	501	24	12	0	33.3%	141	301	23	64.7%

教師として渡満した山口秀子先生の経歴、体験等

大正 12 (1923) 年 1 月飯田市に生る。根羽村国民学校に在職中、「先生さよなら」と満洲に旅立つ生徒に「先生も後から行くから」と送り出したことから、昭和 19 年 4 月本人も渡満。敗戦時(夏休中) 東安での国民学校の講習会に参加、多くの生徒を亡くし、1 年に亘る苦難体験を経て、昭和 21 年 8 月コロ島から引揚。その際、引き揚げ途中で看取った婦人の遺骨を、九州の生家に届け葬儀をあげて、うやく飯田に帰国した。その後、根羽村に嫁ぎ、開拓地で現地で亡くなった教え子を思い一生根羽村で過ごした。(以上)

先月10月の活動日誌

- 11日(日) 2・3世向日本語教室/阿智
- 15日(木) 高齢者向け日本語教室/豊丘はつらつ
- 24日(土) オンライン演劇鑑賞/記念館
- 25日(日) 2・3世向日本語教室/阿智